

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『ヒト由来の認知症疾患病態蛋白が凝集・構造・毒性に及ぼす影響に関する研究』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2009年4月以降2022年12月末日までの間に国立精神・神経医療研究センター病院で病理解剖され、NCNPブレインバンクでの剖検検体の保管および研究使用に関して同意された方の中から、死後の病理解析によりアルツハイマー病、パーキンソン病、Lewy小体型認知症、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、多系統萎縮症の何れかに診断された方。あるいは顕著な神経疾患なし、と診断された方。

【研究期間】

研究実施許可受領後（2023年3月23日）より2027年3月31日まで

【研究代表者】 金沢大学医学部 小野賢二郎

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部 高尾昌樹

【試料・情報の利用目的及び利用方法】

さまざまな神経変性疾患の脳に蓄積するタンパク質を抽出し、その凝集、立体構造、分子動態を調べることにより、認知症疾患などの疾患修飾薬の開発に寄与いたします。

【利用又は提供する試料・情報等】

試料：アルツハイマー病、パーキンソン病、Lewy小体型認知症、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、多系統萎縮症、対照者の脳神経組織（凍結組織）

情報等：性別、年齢、死後時間、RIN値、疾患名、臨床診断情報、病理解析結果 等

提供する試料・情報の取得の方法

作成年月日：2023年2月10日 第1版

試料はNCNPブレインバンクに登録され寄託された検体、情報は試料に付随してブレインバンクに集積する情報

【共同研究機関】

金沢大学医学部 小野賢二郎（研究代表者）

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

所属 病院 臨床検査部 氏名 高尾昌樹

電話番号 042-341-2711（代表）

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail : ml_rinrijimu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）